

## 矢平山(860m)

山行日：6月29日(土)曇り 記：イガ

コース：高尾駅 7:11ー四方津駅 7:32/42…道祖神 8:51…御座敷の松 9:23…大地林道  
9:41～45…大丸 9:55…甚之函山 10:23/34…旧大地峠 10:41…矢平山 11:01/32…丸  
ツツク山 11:59…寺下峠 12:21/30…塩瀬林道登山口 13:34/45…梁川駅 14:11/22

参加者：Lイガ、シン、アイ、ニシ、オヌ、スギ、クロ



左：中央線四方津駅歩きよりはじめる。



川合橋から見下ろす桂川には、鮎釣りの姿も見られる



上：  
林道  
開削  
工事  
中



川合から秋山寺下への峠道にある道祖神、寛政6年3月と彫られている。  
寛政(1789～1801)光格天皇、徳川幕府11代家斉の時代。その三年前から朝廷と幕府の対立激化。浮世絵界に写楽が出現した。12年には伊能忠敬が蝦夷地を測量、200年も前から路傍にあり、道行く人を見守る!“合掌”



御座敷の松を過ぎると一旦大地林道に、登山道は寸断され、草に覆われはじめた階段を上り大丸へ。MTさんを思う！



大丸 高柄山と矢平山への分岐



甚之函山 標高 810m 昔は展望も得られたそうだが、今は植林の林となり展望無し



今回目標の山：矢平山（やだいろやま）標高 860m  
 ご覧の通り樹林に囲まれ  
 展望はない。私たちの他には  
 単独（今は「ソロ」と言うらしい）の登山者、カメラのシャッターをお願いし、さらに西へ向かう。

楽しき岩の下りが待っている。



矢平山から西に行くと、この山稜には珍しい岩の道がある。槍穂の道には負けるが、こんな岩場はなんのその、もうないのか？  
ちょっと物足りない気がしないでもない。



花の少ない時期にみかけたヤマボウシの花、下を向いて歩いていると見過ごしてしまいそう。  
右：丸ツツク山 763mとある。





寺下峠 四方津塩瀬と秋山寺下を結ぶ峠



寺下峠を下る



上：山梨県の山中でみかける「恩・思」の標石、これは県有林境界標というそうだ。

明治44年(1911)御料林の御下賜をうけたものという表示。

他に「呂」と刻まれたものがあるが、それは国有林境界標という。その文字がヒョウタン(凶案)に似ていることから、通称：ヒョウタンと呼んでいる。



寺下峠を下ると右手に矢平山が見える。

その左山腹には林道が痛々しい。 右：塩瀬に下山

